

139その他の木材加工用機械を起因物とする死傷災害事例(最大99事例まで) (2020年)

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	小業種	労働者規模
1	2020	1	17 ～ 18	基材の木口を縁貼りする機械に機材を投入した際に、加工済みの基材が出口に残っているのに気づき、1名が取り除こうとしたが間に合わず、投入した基材に残っていた基材が押し出され、安全柵に当たった。その拍子に機材の角が欠け、補助作業をしていた被災者に木片が飛び、右頬および鼻の骨を折った。	54	4	10402	100 ～ 299
2	2020	1	13 ～ 14	木材加工場で、溝切機で木材に溝加工をしていたところ、木材が跳ね上がり、押さえていた左手がカッターに接触し、左手小指と環指を骨折した。	67	8	30202	1～ 9
3	2020	1	14 ～ 15	作業場で木材を刻んでいたとき、電動工具（ルーター）にゴミが詰まった。左手で払おうとした際にルーターの刃に接触し、人差し指を骨折した。	63	8	30202	10 ～ 29
4	2020	1	10 ～ 11	作業場で、薪割り機を使い木を処分中、薪が動き人差し指を切り、骨折した。	50	8	60101	1～ 9
5	2020	1	11 ～ 12	工場内で自動背割機を使って柱を挽いていた際、センサー異常があったためエアコンプレッサーで清掃をしたところ、ホースが絡み、解けた拍子に丸ノコに右手が接触して、母指・中指・薬指を骨折した。	49	8	10401	1～ 9
6	2020	1	15	工場内のバーチカルカッターで、板の表面を平らにする作業中、カッターが回転している状態で、クサビを入れようとしたため、右	55	8	10501	10 ～

			16	手がカッターに接触して骨折、裂傷を負った。				29
7	2020	1	16 ～ 17	工場内の建具用糊付け作業で、安全カバーを装着せず糊付け機を運転し、ゴムローラーを回転させて糊付け機入口から手を入れて、スチールたわしで清掃しようとしたため、右手がローラーに巻き込まれ右手の甲を打撲した。	51	7	10503	30 ～ 49
8	2020	1	15 ～ 16	道路脇でツツジの剪定を電動のこぎりで作業中、角を整える際に体勢を崩しのこぎりの刃が左膝に当たり裂傷を負った。	69	8	150109	1～ 9
9	2020	2	10 ～ 11	作業場にて万能機で木材を切断していた際、刃に左手小指が当たり創傷を負った。	65	8	30202	1～ 9
10	2020	2	15 ～ 16	工場でフィンガージョイント機を操作し作業中、機内から異音が出たため、機械を停止し安全カバーの下から手を入れて確認した。機械の調子を試そうと稼働させるとき、お互いに十分な確認をせずに動かしたため、右手示指、中指、薬指を挟まれて骨折、裂傷を負った。	23	7	10409	30 ～ 49
11	2020	2	8 ～ 9	現場でサンダーを使用して材料を裁断していたとき、左手首を切断した。	65	8	30209	1～ 9
12	2020	2	9 ～ 10	現場で、床合板に自動釘打機で釘を打っていたとき、バランスを崩して自分の右足に誤射し、右舟状骨に刺創を負った。	20	6	30202	10 ～ 29
13	2020	2	13 ～ 14	自動定寸装置（クロスカット機）が作動しなかったため、手で材料を押してリミットスイッチに当てようとしたところ、機械が作動した。その際、丸鋸が上昇して右手が挟まれ、手首を切断した。	46	8	10402	10 ～ 29
14	2020	2	13 ～	製材機の刃切れが悪くなったので交換するため、回転を止めようと停止レバーを引っ張った。その際、レバーを強く引きすぎて、鋸刃	55	7	10401	30 ～

			14	の安全カバーの間に左手親指を挟んで脱臼した。					49
15	2020	2	10 ～ 11	建具製造課の接着剤自動供給機でトラブルが発生した際、プーリーとVベルトの清掃を電源ONにしたままの状態で行ってしまい、Vベルトを引っ張ったときに急回転し、プーリーとVベルトの間に右手中指が巻き込まれ切断した。	60	7	10503	～	499
16	2020	2	10 ～ 11	建具製造課の接着剤自動供給機でトラブルが発生した際、プーリーとVベルトの清掃をしたとき、プーリーとVベルトの間に右手中指が巻き込まれ切断した。	60	7	170101	～	299
17	2020	2	11 ～ 12	工場で丸棒削り機の作業中、操作盤に肘が当たりスイッチが入り、丸太が流れレーン上にあった丸太と当たって跳ね返り、右足甲に落ちて骨折した。	67	6	10409	1～	9
18	2020	3	14 ～ 15	製材工場内チップパー機で木材の粉碎作業中、機械内部に粉碎物が詰まり、機械の停止スイッチを押し、粉碎物除去口を開けて手で取り除こうとしたが、チップパーナイフの回転が完全に停止する前に手を入れたため、ナイフ部分とカバーの間に左示指を挟み切断した。	35	8	10401	～	49
19	2020	3	14 ～ 15	キャンプ場で、松をくり抜いて水槽を作っていた。ディスクグラインダーで仕上げ加工中、左手の軍手がグラインダーの刃とカバーの間に引き込まれ、親指・人差し指・中指に裂傷を負った。	78	7	140309	～	29
20	2020	3	10 ～ 11	新築現場で建築廃材の片付けを手伝っているとき、木材をゴミ回収できるように切断中、ハンドグラインダーを使用した。刃の回転を回したまま使用したため、左手が刃に接触し、左手背に切創を負った。	43	8	30202	～	29
21	2020	3	8 ～ 9	会社工場内で、糊貼機を清掃し機械を立ち上げた後に、機械に固まった糊が付着しているのに気付いた。機械を止めずローラーが回ったままヘラで除去しようとし、足下がふらつき左手をついてローラーに巻き込まれ、左手小指にデグロービング損傷を負った。	39	7	10501	～	29
			8	2層構造の棚板を張り合わせる際、板と板の間に糊付けされた木枠					300

22	2020	3	9	を固定させる作業中、固まった糊をヘラで除去する際に足下がふらつき、支えようとした左手がローラーに当たり巻き込まれ、薬指と小指に裂傷および皮膚剥奪症を負った。	40	7	170101	～ 499
23	2020	3	13～14	木工用工具で、木材の切り欠き作業中、木材と刃が反発し、回転していたトリマー刃が左手薬指に当たり、打撲挫創を負った。	44	8	10501	10 ～ 29
24	2020	4	14～15	製材工場で、チップパーに端材を入れていたところ、2番のおがくずのダンパーに切れ端が引っ掛かったので、取り除こうとして、機械を止めず手を入れて、右手中指を切断した。	64	8	10401	1～ 9
25	2020	4	14～15	1階床コンクリート上で、被災者は型枠に断熱材の釘打ち作業、現認者は木工ドリルで型枠側面コンパネ部分の穴開け作業をしていて、お互い相手の作業行動に気付けず、穴の貫通先に被災者の左手があったことで、ドリルが接触し、挫滅創を負った。	36	8	30201	50 ～ 99
26	2020	4	16～17	スプレッタで貼り上げ中、定板を置く信号が出たので定板を置こうとした。定板を両手で持って製品の上を下ろそうとしたとき、急に出てきたキャッチャーに定板が押された。そのとき、押された定板と設備本体の間に被災者の左手が挟まれ、左手薬指第4末節を骨折した。	19	7	10402	100 ～ 299
27	2020	4	14～15	会社工場内でモルダーにて木材の4面を削る作業中、途中で木材が引っ掛かったために調整をしようとスイッチを切らないまま作業をし、左手中指を切断し、人差し指を負傷した。	42	8	10409	10 ～ 29
28	2020	4	15～16	工場内で建具工事に使用する木材の加工中、約5kgの電気ドリルを使用していたところ、ドリルが木片に引っ掛かった。その際、ドリル本体が回転して右手首をひねり、薬指を骨折した。	64	7	10503	1～ 9
29	2020	4	11～12	マンションの内装工事中、洗面化粧台を取り付ける作業の工程で電動のこぎりを使用した。その際、左人差し指の側面を切り4針縫った。	25	8	150101	10 ～ 29

30	2020	4	13 ～ 14	既設壁のくり抜き作業を行っていた際、ハンドサンダーの刃が詰まって弾かれ、右手甲と右上腕に接触して裂傷を負った。	45	8	30202	1～ 9
31	2020	5	17 ～ 18	製材工場チップー機の刃物交換作業を終えて、確認のため手で回した際、羽根に左手を掛けており、羽根とケースの間に挟まり、左第5指に切創を負った。	54	7	10409	30 ～ 49
32	2020	5	8 ～ 9	一般住宅改修工事現場で、水道メーターの枠をデスクグラインダーでカットしていたところ、はめていた手袋がデスクグラインダーに巻き込まれて挟まり、左手人差し指に挫創を負った。	69	8	30202	1～ 9
33	2020	5	10 ～ 11	工場でパネルソーを操作して合板材をカットする作業中、合板材を機械の定盤にセットする際、左手中指を挟み裂傷を負った。	67	7	10409	10 ～ 29
34	2020	5	11 ～ 12	造林地で刈り払い機を使用して除伐作業中、蔓が絡んだ雑木を刈り払おうとしたとき、雑木が倒れなかったので、蔓を切断しようとした。左手で蔓を掴み、右手で刈り払い機のパイプを握って切ったところ、刈り払い機の刃が左手に接触し、人差し指を骨折した。	57	8	60209	10 ～ 29
35	2020	5	14 ～ 15	工場内で丸箸の先取工程中、先取り機の送りギアと箸受け（ホッパー）との間に左手指が挟まれて切傷、骨折した。	35	7	10409	1～ 9
36	2020	5	11 ～ 12	営業所で玄関サッシ交換工事のため、サンダーで木部を切断していたところ、サンダー工具が腕に跳ね返り左橈骨動脈断裂、前腕挫創を負った。	69	8	30202	1～ 9
37	2020	5	9 ～ 10	低木剪定作業終了後、トリマーを持ち移動したところ、手から滑って落下し、右足の膝に刃が当たり切傷を負った。	42	4	140302	30 ～ 49
38	2020	6	11 ～	工場の貼り場で、コート材塗付作業が終了し、スプレッター（のり付け機）の横下側のローラーを洗い終わろうとしたところ、ゴム	52	7	10409	1～

			12	ローラーと鉄ローラーの間に右手中指・薬指を挟み、非常停止を使ったが、第一関節まで挟まれ、骨折した。					9
39	2020	6	14 ～ 15	建方現場で釘打機を使用して木材を釘打作業中に、ワイヤー連結釘の連結ワイヤーがはじけ飛び、保護シールドの下部隙間から入り込んで左目に刺さり、水晶体を損傷し、外傷性角膜穿孔を負った。	22	4	30202	～	50 99
40	2020	6	10 ～ 11	別の作業員が刈り払い機で草刈作業中、本人は飛沫防止ネットを持ち飛び石による事故を防ぐ作業をした際、飛び石が左目から眉間の周りに当たり、左目に創傷を負った。	25	4	30309	—	
41	2020	6	10 ～ 11	保育園で靴箱を製作するため、昇降盤でメラミン化粧板をカットする際、化粧板が浮いたため左手を添えて作業したところ、左手親指が刃に触れて神経を断裂した。	51	8	10501	1～	9
42	2020	7	14 ～ 15	作業所内にある木毛機での作業中に、丸太の残材を投入中に残材と残材を固定する金具に手を挟まれ、左手薬指に挫傷を負った。	45	7	10901	1～	9
43	2020	7	12 ～ 13	作業所内にある木毛機での作業中に、丸太の残材を投入中に残材と残材を固定する金具に手を挟まれ、左手薬指に挫傷を負った。	45	7	170101	～	30 49
44	2020	8	14 ～ 15	取引先事業所内で、ギャングリッパの修理のため、ギャングリッパに登って（高さ約170cm）作業していた際、移動しようと足を動かしたとき、体勢を崩して地面に落下し、右肩を強打して、鎖関節脱臼を負った。	62	1	80109	10 ～	29
45	2020	8	10 ～ 11	洗濯排水設備改修工事に伴い、配管前の事前作業（木の床の開口）中、工具の回転が円滑にいかず床材へ噛み、汗で手が滑り手元から離れる瞬間にアクセルロックボタンを押してしまった。その際、工具（ホールソー）が回転したままの状態、刃先が左足小指に当たり、左足小指第一関節を切断した。	24	6	30203	1～	9
			9	工場敷地内で、中古エンジンを梱包するため、木製パレット（長さ					

46	2020	8	～ 10	40～50cm、厚み4～5cm) を電動カッターで切断加工中、支えていた角材が跳ね、カッターの刃に右手人差し指が接触し、切断、開放骨折を負った。	65	8	11502	1～ 9
47	2020	8	～ 16	工場内で、ノコ盤でローリング材の切断作業中、切粉の処理をしてその場を離れようとした際、ノコ盤の刃に左手薬指が接触し切傷を負った。	59	8	11201	30 ～ 49
48	2020	8	～ 10	工場内で、横切り機械を使用して木材を割返し作業中、木材が跳ねたたため押さえようとしたところ、機械の刃に右手が当たり、人差し指と親指に挫滅創を負った。	49	8	10501	1～ 9
49	2020	8	～ 9	工場家具の引き出し組み加工の高さ調整をするため、スイッチをオフにし作業していたが、はずみでスイッチに触れてオンの状態となり、左手示指を挟み切断した。	49	7	10501	30 ～ 49
50	2020	8	～ 11	倉庫内で、廃材(4m×1m×0.5m)を原木用の玉切り機で切断する作業中、廃材の1枚に刃が絡んで刃とハンドルが跳ね返り、ハンドルが作業者の左肩に当たって鎖骨を折った。	54	6	50202	100 ～ 299
51	2020	9	～ 16	工場内のNCボーリングで木材に穴を開ける作業中、木材に手を添えたままスイッチを押し、左手中指の爪辺りを挟んで、挫創を負った。	37	7	10501	10 ～ 29
52	2020	9	～ 10	工場内のダボ打ち機にて自動運転で作業中、手動運転に切り替えずにレールに付いた糊を除去しようとして指を挟まれ右示指を骨折した。	31	7	170101	100 ～ 299
53	2020	9	～ 17	取引先倉庫で、ベニヤ板と材木を電動釘打機で打ち付けていたとき、手元が滑って左手の平に刺創を負った。	41	8	30209	1～ 9
54	2020	9	～ 15	チッパーを使用して木材チップの製造作業中、吸い上げ部分のつまりを確認していた際、左手が吸い込まれて中指を切断、環指を挫滅切断した。	59	7	10409	1～ 9

55	2020	9	9 ～ 10	穴掘機で木材に穴を開ける作業中、位置を決めるために押さえ板のボタンを押して木材を固定させようとした際、木材と押さえ板の間に右手が挟まって中指を骨折した。	22	7	10503	～ 29
56	2020	9	13 ～ 14	工場で、電動サンダーを使って木材製品の研磨を行っていた際、サンダーの刃が右大腿部に接触して挫創を負った。	28	8	10409	～ 29
57	2020	9	9 ～ 10	工場で椅子の座板を機械で加工中、突然材料が飛んできて右下腹部に当たり、打撲を負った。	55	2	10501	～ 299
58	2020	9	9 ～ 10	柱に穴を開ける作業中、柱のふしにドリルが当たり、手を巻き込まれ、右手を骨折した。	30	7	30202	1～ 9
59	2020	10	11 ～ 12	顧客宅敷地内で伐木作業中、左手で枝を押さえ、右手でチェーンソーを使用して枝の切断時に、左手を静止できず左腕ごと押し込んで、チェーンソーを左腕に当てて裂傷を負った。	41	8	150103	～ 49
60	2020	10	8 ～ 9	住宅増改築工事現場の1階リビングで、右手にエア釘打ち機を持ち、根太施工中、エア釘打ち機のトリガーを引いて、左手掌に貫通突傷を負った。	21	8	30202	～ 49
61	2020	10	10 ～ 11	公園等の管理で、伐採してきた樹木（太さ約20cm、長さ60cm）を切削作業中、刃が樹木の節に食い込み、停止したため、該当機をゆすった。そのとき、不規則な動きをしたため、これを押さえたところ、切削中の木が跳ねて左手小指に当たって骨折した。	79	4	60101	～ 29
62	2020	10	11 ～ 12	加工場で、床フローリング材加工中、端部に充電式トリマーで切り欠いた際、左手中指と人差し指の先端が回転する刃に触れ、手袋ごと巻き込まれて、左手中指と人差し指に骨折、裂傷を負った。	26	8	30202	～ 99
63	2020	10	13 ～	工場で、チップ製造機のパイプが詰まったため、パイプの接続口に角材を挟み、隙間から手を入れ詰まったチップを取り除こうとし	39	7	10409	～

			14	て、惰性で回転しているディスクの側面に接触し、左中指と環指の末節骨を開放骨折した。					29
64	2020	11	11 ～ 12	山林内での草刈り作業中、右目に飛散物が入り、違和感が生じて見えにくくなった。	62	4	60201	～ 49	30
65	2020	11	11 ～ 12	製材工場で、丸太製材機から丸太が外れて落下し、右足小指に当たって骨折した。	44	4	10401	1～ 9	
66	2020	11	15 ～ 16	工場内で回転式電気のこぎりを使用中、手元が滑り、左手母指腱断裂を負った。	34	8	11209	100 ～ 299	
67	2020	11	8 ～ 9	工場で集成材の加工作業中、機械トラブルの修理のため高さ約1mの機械を乗り越えた際、着地に失敗して転倒し、右足首を骨折した。	42	3	10402	10 ～ 29	
68	2020	11	17 ～ 18	外構工事で、ウッドデッキの材料を加工している際、サンダーが跳ねて、右橈骨動脈断裂、神経断裂を負った。	24	8	30199	1～ 9	
69	2020	12	13 ～ 14	木工機械の昇降盤を使い、きり箱の角をカッター（刃物）で丸くする作業中、1か所板が付いていない不安定な箱だったこともあり、手が滑って左中指が刃物に接触し、左中指第1関節を切断した。	22	8	10409	1～ 9	
70	2020	12	9 ～ 10	工場敷地内で立木の枝落としが終わって片付けをしていた際、左手で枝を持ち、右手で小型チェーンソーを操作していたところ、細い枝がチェーンソーに絡まった。その反動でチェーンソーが左手に接触し、手のひらに挫創を負い、薬指と小指の神経が断裂した。	63	8	30209	1～ 9	

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害事例\(最大99事例まで\)](#) (2020年)に戻る。

